

ブレストセンター クリニカルパス

～入院中の診療や看護の主な予定をご案内いたします～

様 病名 乳癌（乳房部分切除術 手術当日入院）

平成 年 月 日

主治医 担当看護師

S国際病院（ ）病棟

経過 手術日・退院日など	1日目		2日目	3日目
	入院日・手術前	手術後	術後1日	術後2日以降
治療 薬剤 (点滴・内服)	点滴留置針挿入（手術と反対側の腕）： 病室で行います。	・抗生物質の投与 ・痛みに応じて痛み止めを使用します。 （点滴、坐薬など）	・食事が取れたら、点滴留置針を抜きます。 ・毎食後、痛み止めを内服します。（場合によって、必要時の内服でもかまいません。）退院後は、必要時の内服に変わります。	
処置	手術する側の乳房にマジックでマーキングします。（エコーでマーキングする場合もあります。）	・手術後、酸素投与を行います。時々深呼吸を行ってください。 ・創部にドレーンが入ります。毎日排液量を測定します。	・酸素投与を中止します。 ・創部には創の保護の為、透明フィルムか、ダーマボンドで保護されています。フィルムは退院後、外来ではがします。 ・ドレーンは1日50ccを目安に抜きます。ドレーンの抜けた翌日に退院可能です。	
検査	<input type="checkbox"/> 乳房の超音波 <input type="checkbox"/> ()			
安静度	制限はありません。	手術後は、ベッド上安静。 身体の向きを変えたり起こしたりすることは可能です。	制限はありません。 初めて歩行される時は、看護師が付き添います。	
食事	入院後より絶飲食	絶飲食 口を湿らせたり、うがいはできません。 麻酔覚醒後6時間で水分摂取できます。	朝食から食事が始まります。制限はありません。	
清潔	手術前に、手術用ガウン、下着に着替えます。弾性ストッキングを着用します。	当日はガウンで過ごしていただきます。	ドレーンの入っている場合は、上半身は清拭、下半身はシャワーが可能です。	創部は透明フィルムで保護されています。 水を通さないため、ドレーンが抜けた翌日以降は全身のシャワーが可能です。
排泄	入院後、尿量を計測し、記録してください。	麻酔がかかってから、尿道カテーテルを入れます。	朝、尿道カテーテルを抜きます。	排泄回数を記録してください。
説明・ オリエンテーション	・病室・病棟・入院生活、手術前後の流れなどについて看護師より説明します。 ・手術、麻酔の同意書をお預かりします。 ・問診、検温、常用薬の確認等行います。	手術終了直後、ご家族に医師から手術内容について説明します。	・手術後、病理の結果がでるまでには約2週間かかります。 退院後、初回外来にて結果をご報告し、今後の治療についてお話しします。 ・手術後のリハビリや生活上の注意点などについて、看護師より適宜説明します。 ・退院後の生活や注意点等についても説明書をお渡しして、説明します。 ・ご希望に応じて、訪問看護師の調整をします。（外来の場合もあります） ご質問、ご不明な点などありましたら、お声かけ下さい。	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わる可能性があります。

注2 入院期間については現時点の予想です。